

第 2 2 回 宇宙開発戦略本部 議事概要

日 時：令和 2 年 6 月 2 9 日（月） 1 4：0 0～1 4：2 0

場 所：官邸 4 階 大会議室（※一部出席者はテレビ会議により出席）

出席者：別紙のとおり

議 事：

- （1） 宇宙基本計画（案）及び宇宙基本計画工程表（案）について
- （2） その他

議事概要：

- 冒頭、葛西宇宙政策委員長より宇宙政策委員会での審議についての報告があった。また、竹本宇宙政策担当大臣から、資料 1「宇宙基本計画（案）の概要」について説明が行われた。審議の結果、「宇宙基本計画（案）」と「宇宙基本計画工程表（案）」を宇宙開発戦略本部として決定した。
- 出席者からの発言は以下のとおり。
 - ・ 茂木外務大臣から、「経済分野及び安全保障分野での宇宙空間の戦略的な利用がますます重要になる中、外務省としては、新たな宇宙基本計画を踏まえ、同盟国・友好国と緊密に連携しながら、宇宙活動に関する国際的なルール作り積極的に取り組んでいく。」といった発言があった。
 - ・ 高市総務大臣から、「今般改定される宇宙基本計画に基づき、総務省においては、静止衛星からの「宇宙光通信」をはじめとする「革新的な衛星通信技術」や、宇宙空間からの観測を可能とする「リモートセンシング技術」など先進的な研究開発に取り組んでまいる。また、内閣府を中心に設置される「衛星開発・実証プラットフォーム」に参画し、防衛省をはじめとする関係省庁と協力し、衛星量子暗号の実証実験などを積極的に進めてまいる。さらに、宇宙に関わる情報通信技術のオープンイノベーションを進める観点から、NICT（情報通信研究機構）を中心に、新たなフォーラムを設立し、関係企業との連携を強化してまいる。」といった発言があった。
 - ・ 梶山経済産業大臣から、「経済産業省は、「自立した宇宙利用大国」に向け、衛星データの利用拡大と、衛星運用上のリスクとなるスペースデブリの抑制に取り組む。具体的には、官民連携で、サービス運用中の政府衛星データプラットフォーム「Tellus（テルース）」の更なる利便性向上を図るとともに、民間衛星とスペースデブリとの衝突回避のため、運用者に宇宙の混雑情報をより良く提供するためのシステム構築を進める。このように、今後も宇

宙に関わる産業の振興を図ってまいりたい。」といった発言があった。

- ・ 萩生田文部科学大臣から、「文部科学省は、米国提案の国際宇宙探査「アルテミス計画」への参画機会を活用し、今後の探査に必要な技術の獲得、日本人宇宙飛行士の活躍機会の確保等に取り組みます。また、H3ロケット及び先進光学衛星を開発するとともに、その先を見据えた将来宇宙輸送システムや挑戦的な先端技術を取り入れた衛星の研究開発、さらに「はやぶさ2」等の宇宙科学・探査を着実に進めます。」といった発言があった。
- ・ 小泉環境大臣から、「環境省は文部科学省と共同で、温室効果ガス観測技術衛星GOSATにより11年にわたり地球の温室効果ガスの状況を観測しています。2023年には排出源を特定する能力を強化したGOSAT-GWを打ち上げ、世界各国の気候変動対策に引き続き貢献してまいります。また1号機のスペースデブリ化を防止するための検討を省内で進めており、得られた知見は率先して国内外に発信してまいります。」といった発言があった。
- ・ 山本防衛副大臣から、「我が国の安全保障における宇宙システムへの依存度が高まる中、ミサイル等による衛星の破壊にとどまらない、多様な妨害手段の開発を始めとする宇宙空間における脅威の増大が指摘されています。こうした中、米国をはじめ、宇宙を「戦闘領域」や「作戦領域」と位置付ける動きが広がっており、宇宙安全保障は喫緊の課題です。そのため、防衛省は宇宙領域における能力を強化するため、新編した宇宙作戦隊を中心に、米軍やJAXAと緊密な協力を図りつつ、宇宙状況を監視するための体制の構築と能力強化などに邁進します。引き続き、平時から有事までのあらゆる段階において、宇宙利用の優位を確保するための能力を強化して参ります。」といった発言があった。

○ 安倍内閣総理大臣より、以下のとおり指示があった。

- ・ 本日、新たな宇宙基本計画を決定しました。
- ・ 先月、米国は、9年ぶりに有人宇宙船の打上げに成功しました。我が国が参画するアルテミス計画が 目指す、2024年の月面着陸、2028年頃の月面活動の本格化に向け、大きな弾みとなるものです。我が国としても、将来を見据えた技術開発や日本人宇宙飛行士の月面での活動など、この新たなフロンティアの開拓に、主体的かつ果敢に挑戦してまいります。萩生田大臣を中心に、しっかり準備を進めてください。
- ・ 我が国の準天頂衛星システム「みちびき」は、今や国内のスマートフォンのほとんどで位置情報の把握に利用されるなど、宇宙利用の幅を広げてきました。今後、農作業の自動化やドローンによる無人配送、災害対応力の充実などの実現に向け、7機体制の確立に取り組むとともに、衛星データの活用を強化していきます。

- ・ 更に、今後の宇宙安全保障や経済成長も見据え、我が国が強みを持つスペースデブリ対策や衛星量子暗号通信など、次なる時代の戦略分野にも、国として大胆に投資をしていきます。
- ・ 計画は、実行してこそ、意味があります。「自立した宇宙利用大国」の実現に向け、竹本大臣を中心に、政府一丸となって、今回決定した宇宙基本計画の迅速かつ着実な実行に全力をあげてください。

(議了)

(別 紙)

出席者一覧

安倍 晋三	内閣総理大臣
麻生 太郎	副総理
	財務大臣
	内閣府特命担当大臣 (金融)
	デフレ脱却担当
菅 義偉	内閣官房長官
	沖縄基地負担軽減担当
	拉致問題担当
竹本 直一	情報通信技術 (I T) 政策担当
	内閣府特命担当大臣 (クールジャパン戦略 知的財産戦略 科学技術政策 宇宙政策)
高市 早苗	総務大臣
	内閣府特命担当大臣 (マイナンバー制度)
森 まさこ	法務大臣
茂木 敏光	外務大臣
萩生田 光一	文部科学大臣
	教育再生担当
梶山 弘志	経済産業大臣
	産業競争力担当
	国際博覧会担当
	ロシア経済分野協力担当
	原子力経済被害担当
	内閣府特命担当大臣 (原子力損害賠償・廃炉等支援機構)

小泉 進次郎	環境大臣 内閣府特命担当大臣 (原子力防災)
武田 良太	国家公安委員会委員長 行政改革担当 国家公務員制度担当 国土強靱化担当 内閣府特命担当大臣 (防災)
衛藤 晟一	一億総活躍担当 領土問題担当 内閣府特命担当大臣 (沖縄及び北方対策 消費者及び食品安全 少子化対策 海洋政策)
西村 康稔	経済再生担当 全世代型社会保障改革担当 内閣府特命担当大臣 (経済財政政策)
北村 誠吾	内閣府特命担当大臣 (地方創生 規制改革) まち・ひと・しごと創生担当
橋本 聖子	東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当 女性活躍担当 内閣府特命担当大臣 (男女共同参画)
山本 ともひろ	防衛副大臣
小島 敏文	厚生労働大臣政務官
河野 義博	農林水産大臣政務官
佐々木 紀	国土交通大臣政務官
藤原 崇	内閣府大臣政務官
葛西 敬之	宇宙政策委員会 委員長

和泉	洋人	内閣総理大臣補佐官 (国土強靱化及び復興等の社会資本整備、 地方創生、健康・医療に関する成長戦略並び に科学技術イノベーション政策担当)
木山	繁	内閣官房参与
山崎	重孝	内閣府事務次官
別府	充彦	内閣府審議官
松尾	剛彦	内閣府宇宙開発戦略推進事務局長